

#### 参考：本書の作成経緯について

日本労働研究機構（労働政策研究・研修機構の前身）では、労働関係の情報を広く提供することを目的として、「加工指標開発に関する基礎研究委員会」（座長神戸大学大学院経済学研究科三谷直紀教授）を設置し、加工指標の提供に関する基礎的な研究を実施した（平成9年度）。そこでは、各方面へのヒアリングを行い、利用ニーズの高い指標を検討するとともに、政府の各種白書等をサーベイし、一般に広く提供すべきと考えられる加工指標を整理した。その結果を受け、提供すべきと判断された加工指標について実際の開発作業が行われ、利用者のニーズにあった加工指標の作成がなされてきた。本書は、以上の経緯を受け、従来以上にわかりやすく有益な情報提供を目指して、提供すべき加工指標の項目を検討・吟味し、作成したものである。

## 索引

### [い]

- 引退年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 259, 260, 268, 277, 281, 288, 290  
引退年齢の国際比較・・・・・・・・・・・・・・・・ 279

### [か]

- 開業率・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153, 154, 155  
会社紹介転職者割合・・・・・・・・・・・・・・・・ 144  
過剰雇用・・・・・・・・・・・・・・・・ 115, 117, 119, 120  
課長・・・・・・・・・・・・・・・・ 241, 246, 248  
学歴別失業率・・・・・・・・・・・・・・・・ 61

### [き]

- 均衡失業率・・・・・・・・・・・・・・・・ 90, 92, 93, 94, 95, 102, 103, 106, 255, 256  
勤続年数・・・・・・・・・・・・・・・・ 147, 152, 182, 183, 191, 210, 211, 227, 228, 229, 232, 269  
勤労者生活指標・・・・・・・・・・・・・・・・ 253, 258

### [け]

- 欠員・・・・・・・・・・・・・・・・ 91  
欠員率・・・・・・・・・・・・・・・・ 90, 91, 93, 94, 101, 102

### [こ]

- 構造的・摩擦的失業・・・・・・・・・・・・・・・・ 102, 103  
呼称パート・・・・・・・・・・・・・・・・ 32, 33, 34  
雇用形態別失業率・・・・・・・・・・・・・・・・ 58, 59  
雇用失業率・・・・・・・・・・・・・・・・ 51, 52, 90, 91, 93, 94  
雇用者の平均引退年齢・・・・・・・・・・・・・・・・ 277  
雇用人員判断 D. I.・・・・・・・・・・・・・・・・ 119  
雇用喪失・・・・・・・・・・・・・・・・ 157  
雇用創出・・・・・・・・・・・・・・・・ 153, 155, 157  
雇用調整・・・・・・・・・・・・・・・・ 115

[さ]

産業間転出割合 ..... 135, 137  
産業別雇用失業率 ..... 51, 52, 54, 55

[し]

資産格差 ..... 234  
失業期間 ..... 63, 64, 66, 82, 84  
失業継続期間 ..... 66, 68, 73, 74, 309  
失業指標 ..... 90  
失業者世帯 ..... 107, 108, 109, 110, 114  
失業世帯 ..... 109, 111  
失業の深刻度 ..... 77, 82  
失業頻度 ..... 66, 68, 73, 74, 90  
就業分野の性差指数 ..... 40  
出向労働者比率 ..... 46  
生涯賃金 ..... 231, 232, 233, 259, 260, 268, 269, 281  
生涯に関する指標 ..... 259  
生涯労働時間 ..... 281, 288, 289  
職業間転出割合 ..... 135, 137  
職業別雇用失業率 ..... 55, 56  
所定内給与 ..... 23, 31, 165, 192, 205, 207, 210, 212, 213  
所得格差 ..... 234, 235  
所得の不平等度 ..... 234  
所得変動 ..... 222  
新規開業による雇用増 ..... 160  
事業主都合離職率 ..... 144, 145  
自己都合離職率 ..... 144, 145  
ジニ係数 ..... 234, 235, 236, 239  
若年無業者 ..... 36, 38  
需要不足失業 ..... 90, 92, 93, 101, 102

女性役職者割合	251
[そ]	
損失所得を考慮した完全失業者数	77, 80
[た]	
退職	259
退職金	216, 217, 218, 219, 220, 227, 229, 231, 232, 259, 260, 268
退職金減少率	227
退職金の学歴間格差	216, 217, 219
退職金の規模間格差	219
単身赴任割合	48, 49
短時間労働者	32, 205, 207, 212
ダンカン指数	42
男女間賃金格差	210
[ち]	
中途採用者	212, 213, 227
長期失業指標	63
長期失業者割合	63, 64
長期失業率	63, 64
賃金格差	165, 166, 205, 210, 212
賃金コスト指数	8, 14
賃金変動 D. I.	222, 224
[て]	
転出割合	135, 137
転職希望率	132
転職による生涯所得減少率	231
転職による退職金減少率	227
転職による賃金変動 D. I.	222
転職率	122, 125, 126
ディビジア指数	25, 29, 30, 31, 294, 296, 297, 298, 299, 300, 301

ディフュージョン・インデックス (D.I.)	222
[と]	
倒産発生率	163
同一企業型職業生涯	260, 268
同一コーホートの別にみた生涯労働時間	288
[は]	
廃業率	153, 154
パートタイム労働者	32, 34
パートタイム労働者比率	32, 34
パート労働法	32
[ひ]	
標準労働者	268, 269
[ふ]	
フリーター	36, 37, 38
部下の数	246, 248
部長	241, 246, 248
部長・課長比率	241
[へ]	
平均引退年齢	268, 277, 278, 279, 281, 289, 290
平均勤続年数	147, 148, 149, 152
[ま]	
摩擦的失業	102, 103
マンアワー	8
[み]	
ミスマッチ	102, 104, 105
ミスマッチ指標	104, 105, 106
[や]	
役職	241, 251

[ゆ]

有配偶単身赴任者	49, 50
UV 曲線	102
UV 分析	90, 101
U1～U6	82, 83, 86, 88, 89, 90

[ら]

ラスパイレス賃金指数	182, 183, 184, 190, 191, 192, 193
------------	-----------------------------------

[り]

離職率	144
流動化	122

[ろ]

労働移動関連指標	122
労働生産性指数	8, 11, 12
労働投入量指数	8, 12
労働の質指標	22, 23, 25
労働分配率	18, 20, 21
労働力配分係数	140, 141, 142
ローレンツ曲線	234, 235, 237